

歯周病と全身疾患について

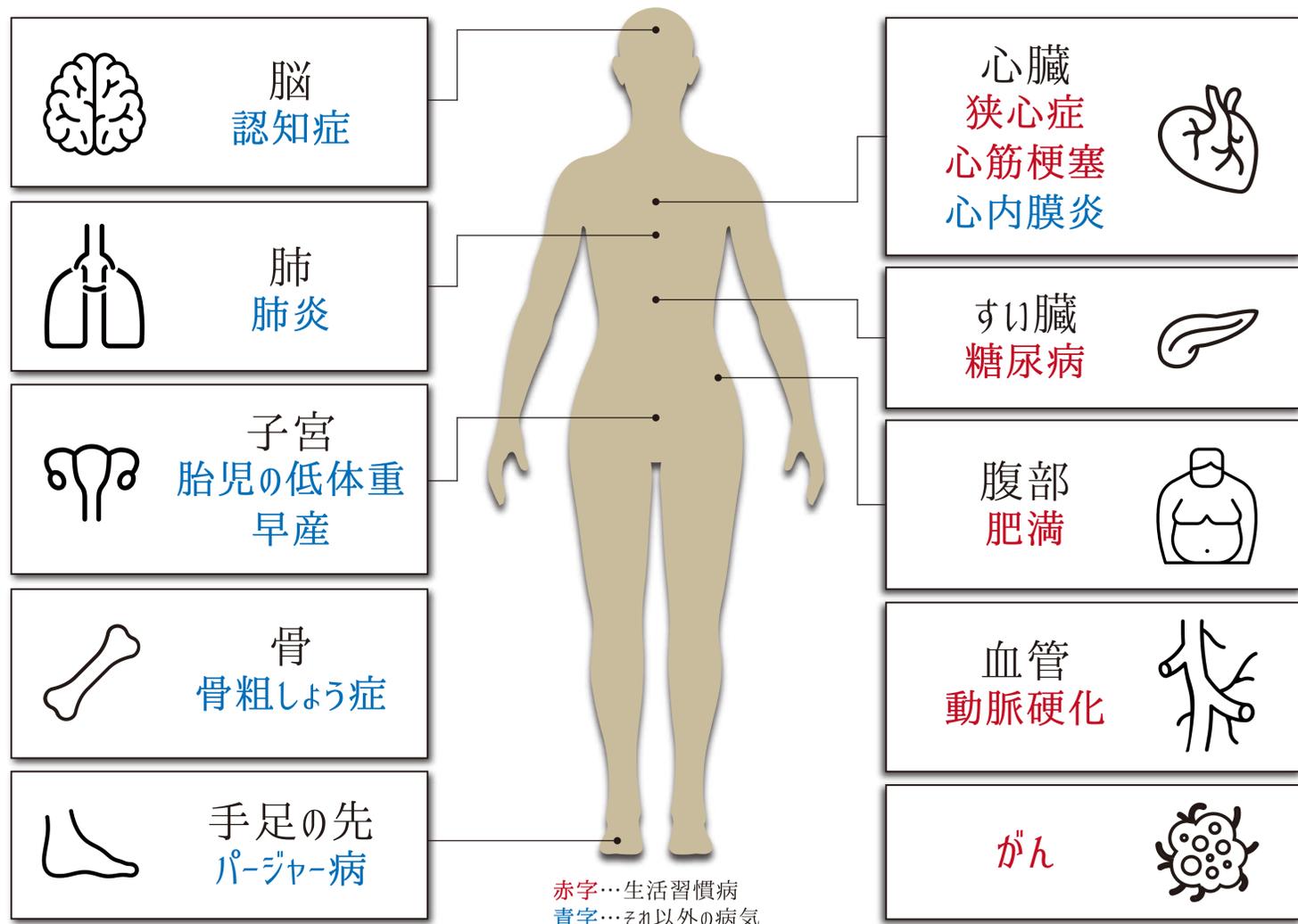
歯の健康状態は全身の様々な箇所に影響を及ぼします

歯周病とは 歯周病は、細菌の感染によって引き起こされる炎症疾患で歯を失う大きな原因です。進行すると歯を支える土台が溶けて歯が動くようになり、最後は抜歯をしなければいけなくなってしまいます。

歯は、食べ物がはじめて出会う「消化器」であるだけに歯周病で歯を失うと、からだ全体に大きな影響が及びます。

さらに、歯周病が全身のさまざまな病気に関わっていることがわかってきています。

歯周病とからだの病気



歯周病予防で生活習慣病の予防を!



①メタボリックシンドロームの予防

食事をよく噛むことで満足感が満たされ、食べ過ぎを防ぎます。➡肥満の予防に!
またよく噛むことにより唾液がよく出て口の中が綺麗になります。➡歯周病の予防に!



②心臓病の予防

歯周病が悪化して、歯周病菌が血管に流れ込み、心臓の内膜に歯周病菌が付着すると、心内膜炎という心臓病を引き起こすことがあります。
歯周病を予防することが心臓病の予防に繋がります。



③糖尿病の予防

糖尿病の方は免疫力が低下して、歯ぐきの炎症を引き起こし歯周病を悪化させると言われています。

福山東部



歯科医院

周術期口腔機能管理

お口の環境を整えておくことが、がん治療中のつらい口内炎などの症状を緩和したり全身麻酔手術の合併症のリスクを下げるという治療の支援療法で、治療の向上を目指します。